

さぬき市高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画策定委員会
(第1回 会議要旨)

- 1 開催日時 令和2年8月6日(木)10時～
- 2 開催場所 寒川庁舎1階 多目的ホール
- 3 出席者 (委員)12人 (事務局)3人 (傍聴)0人
- 4 議題 (1)さぬき市の現状と課題について
(2)高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画の策定について
(3)その他

5 会議要旨

(1) 会議の成立

規定により、過半数以上の委員の方の出席があり、会議が成立。

(2) 会長あいさつ

(3) 事務局からの説明

資料1～8に基づき、説明

(4) 委員からの意見

○福祉国家(スウェーデン、ノルウェー、フィンランド)の公費負担の資料の提示

資料1の14ページ、直接、本項には大きな影響を与えるものではありませんが、いわゆる世界で有名な北欧のノルウェー、スウェーデン、あるいはフィンランドの公負担のところが載っていないため、もしノルウェー、スウェーデン、フィンランドなどの資料が手に入れば、次回でもお示しいただくとありがたい。

○『共助』の重要性を計画に記載

次の8期の事業計画で一番重点を置かなければいけないのは、共助。増え続ける社会保障費、これが次世代(子、孫、ひ孫)まで影響する。生産人口を増やし、税金の負担者を増やすことは簡単ではない。出生率を高く上げようと努力しても、今のところでは達成できてない。要は、元気な高齢者が、そうでない高齢者を助ける。すなわち『共助』が重要。特に、買い物支援、ゴミ出し支援などをいかに進めていくか。

○在宅介護支援センターの役割の強化を計画に記載

在宅介護支援センターの職員、支援員、相談員として介護保険を利用する前段階の

方への支援としての在宅介護支援センターの役割を強化し、計画に明言すべきである。

市内で6カ所ある在宅介護支援センターが足並みをそろえて、介護保険を安易に利用する前に予防に取り組み、介護保険料を納めているから介護保険のサービスを使って当然だという主張をされる方に対して、介護保険料をもっと上げていいのですか、使わない、健康であることがご自身のためであり、保険料を下げることに繋がるといふ啓蒙活動を家族介護者教室等の場を利用して、地域の方に発信していく必要がある。

○認知症予防のPRの必要性

各種催しに参加する意欲はあるけど実際は参加できてないというギャップがあり、これをどう考察し、人との関わりが非常に認知症予防になるということを、もっとPRすべきである。